

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもホリデー（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和7年2月3日		～ 令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和7年2月3日		～ 令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月7日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後は学校生活の後の時間なので、ホリデーではゆったりと受け入れ、本人がリラックスできる場になっていること。	リラックスできる場であっても、個々にやるべき課題があり、それに取り組んでから、自由時間を過ごすようにしている。	課題を積極的に出来る様に時間配分し、声かけを行い、子どもたちの様子を見ながら支援していく。また、定期的に見直しを行う。
2	なるべく散歩や、外遊びを多く取り入れること。	外で体を動かすことは、体力づくり、四季折々の自然を感じ道路を歩き、交通ルールを学ぶことになるので大切にしている。	集団行動として、友達と手を繋ぎ、ルールを学び、危険を回避できるように支援する。
3	自由遊びはできるだけ本人の発想を豊かにできるように素材を提供し、自由に取り組める。	紙、空箱、段ボール、テープ、クレヨン、鉛筆など自由に使えるようにしている。	出来上がったものを、みんなでみて、次の製作の取組に役立てる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	大きい部屋が一部屋なので、長時間利用時にはストレスがたまる。	活動内容によって部屋を変えることができない。建物の都合上、部屋を増やすことができない。	少しでも外へ連れ出し、場所を変えて気分を変えたり、リラックスしてもらう。また、別事業で使用している隣の部屋が15:30以降は空くので利用させてもらうようにしたい。
2	建物の2階に位置するため、階段での行き来に危険が伴うこと。	1階は他事業で利用しているため、1階では活動できない。また、2階への行き来は階段のみで、他の手段はないこと。	利用時には、危険回避のため職員が同行して見守り、必要に応じて手を繋ぐなど対応している。体力づくりの側面もあると考えている。今後も、階段ではふざけないで気をつけることなど見守りながら支援する。
3	一部屋なので、パニックになった時のクールダウンする部屋がない。	建物内の他の部屋は他事業で利用しているため、部屋が限られる。	パニックの要因を突き止め、パニックにならないよう支援を工夫する。また、部屋の一部を改装して小部屋を作る予定である。